

## R4 地域協働研究 (ステージ I)

### R04- I -26 「宮古市の地域色を活用したシティプロモーションの手法に係る研究」

課題提案者 宮古市

研究代表者 宮古短期大学部 教授 大志田 憲

研究チーム員 中居 裕美 (宮古市企画部企画課地域創生交流推進室長)

河野 暁子 (宮古短期大学部准教授)、松田 淳 (宮古短期大学部教授)

#### (要旨)

岩手県宮古市では若年層の流出による人口減少が大きな課題となっており、本市出身の若年層 (20~30代) に向けてシティプロモーションを行い、地元の魅力と快適な居住環境を再確認してもらうきっかけをつくること、Uターン者の増加に繋がる可能性のひとつとして考えている。シティプロモーションの取り組みのひとつとして、一般社団法人日本地域色協会と連携し「海」の地域資源である「浄土ヶ浜」の地域色 (カラー) を「浄土ヶ浜エターナルグリーン」として決定し、その活用を検討している。そこで、主となるターゲットが若い世代でもあることから、本学の学生参加による地域色に関するアンケートを実施し、その調査分析、地域色を活用した取り組みなどの意見交換を行った。

#### 1 研究の概要 (背景・目的等)

岩手県宮古市では、高校卒業からの進学、就職のタイミングで転出し、その多くが宮古市に戻らずに社会減が続いていることが課題となっている。宮古市への居住、さらには本市出身の若年層 (20~30代) に向けてシティプロモーションを行い、地元の魅力と快適な居住環境を再確認してもらうきっかけをつくること、Uターン者の増加に繋がる可能性があると考えている。シティプロモーションの取り組みのひとつとして、一般社団法人日本地域色協会 (以下地域色協会) と連携し「海」の地域資源である「浄土ヶ浜」の地域色 (カラー) を「浄土ヶ浜エターナルグリーン」として決定した。地域色の決定にあたっては、市民を巻き込んだプロモーションの取り組みとして、市民投票など市民参画の形で行われた<sup>1)</sup>。この地域色のアンケートを実施し、学生参加による調査および意見交換を行い今後の取り組みに結び付ける。

会が他の県内地域と連携して進めている他の4色も含め、形容詞対による尺度評価アンケートを実施した。

調査対象者：本学部学生1年生および2年生

日時：2022年6月16~23日

回答方法：Webアンケート方式

回答内容：各地域色について、形容詞対の尺度評価入力  
比較地域色については、「浄土ヶ浜エターナルグリーン」「陸前高田ゆめブロッサム」「龍泉洞ドラゴンブルー」「久慈アンバーイエロー」「南部紫」とした。

回答者数：127名

「1暖かい-冷たい」「2重い-軽い」「3硬い-柔らかい」「4乾いた-湿った」「5伝統的な-現代的な」  
「6素朴な-洗練された」「7控えめな-積極的な」「8頑丈な-華奢な」「9自然な-人工的な」  
「10静かな-賑やかな」「11ワイルドな-穏やかな」「12さわやかな-しっとりした」  
「13ダイナミックな-こじんまりとした」「14あどけない-成熟した」「15大胆な-慎重な」  
「16こってりした-さっぱりした」「17つるんとした-もふとした」  
「18くつろいだ-張りつめた」「19ロマンティックな-リアリスティックな」

図2 形容詞対

- ・市内イベントにおける聞き取りアンケート調査  
市内イベントにおける聞き取りアンケート調査 (地域色協会への協力)  
調査対象者：「しおかぜフェスタ」来場者  
日時：2022年7月17日  
回答方法：対面式アンケート方式  
回答内容：浄土ヶ浜エターナルグリーンに対する認知度調査  
回答者数154名
- ・学生参加による地域色「浄土ヶ浜エターナルグリーン」を活用した企業および宮古市へのヒアリング



(a) 浄土ヶ浜エターナルグリーン (b) 市民投票用チラシ

図1 宮古市「浄土ヶ浜エターナルグリーン」

#### 2 研究の内容 (方法・経過等)

以下の内容で宮古市と共に、地域色協会の協力のもと、学生が参画する形で協働研究を進めた。

- ・学生を対象とした地域色に対するアンケートおよび分析  
浄土ヶ浜エターナルグリーンと比較検討のため、地域色協

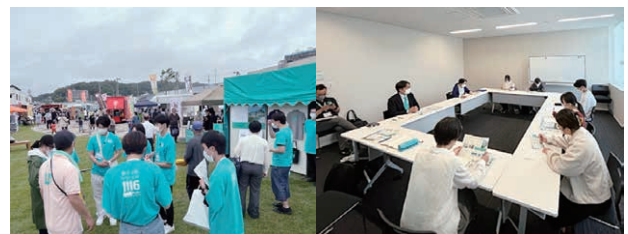


図3 市内イベントでのアンケート調査 図4 市役所へのヒアリング

・学生による地域色活用方法のグループワーク

地域企業や宮古市へのヒアリング、アンケート集計結果などをもとに学生による活用方法等の意見交換を実施した。

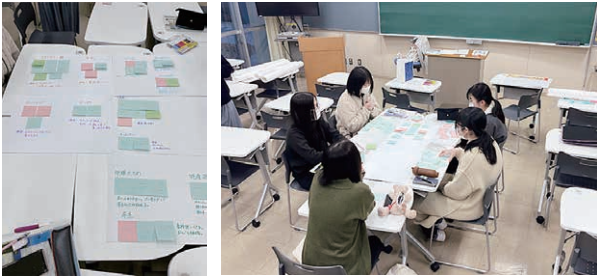


図5 学生によるグループワーク

3 これまで得られた研究の成果

得られた成果の中から、以下に地域色に関するアンケート結果についてまとめたものを述べる。はじめにプロフィール分析を行った(図6参照)。「浄土ヶ浜エターナルグリーン」の特徴として、「静かな」「穏やかな」といった数値が高く出

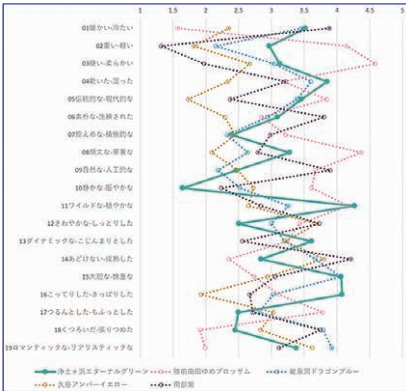


図6 尺度プロフィール

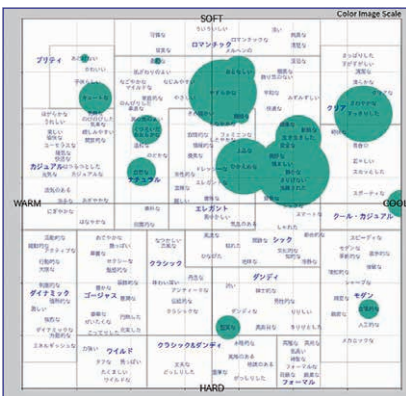


図7 言語イメージスケールへのプロット

また、5色のアンケートの形容詞対19項目について因子分析を行い、表1に示す様に、意味づけ(解釈)を行った。因子1は「柔らかく、暖かい」といった印象を強くもつものと解釈し、因子1は〈癒し性〉とし、因子2は動的な形容詞が集まることから〈活動性〉、因子3は〈清爽性〉とし、因子4を〈洗練性〉とした。次に各地域色ごとに検討を行うために因子得点についてまとめたものが表2となる。この表は各地域色ごとの因子得点について平均値を算出したものである。外観すると、「浄土ヶ浜エター

ナルグリーン」については、因子3のさわやかなといった因子得点が高く、積極的な、ダイナミックなといった因子2の得点が高いことがわかる。

表1 形容詞と因子の意味づけ(解釈)

	形容詞	因子の解釈
因子1	柔らかい、くつろいだ、華奢な、暖かい、軽い、ロマンティックな、もふとした、穏やかな	癒し性 安心、可愛らしさ
因子2	積極的な、ダイナミックな、大胆な、賑やかな、人工的な	活動性 行動、派手さ
因子3	さわやかな、あどけない、さっぱりした、現代的な	清爽性 透明感、幼さ、今風さ
因子4	洗練された、湿った	洗練性

表2 因子得点の平均値一覧

地域色	因子1	因子2	因子3	因子4
■ 浄土ヶ浜エターナルグリーン	0.121558	-0.63825	0.655168	0.506537
■ 陸前高田ゆめ Blossam	1.442027	0.451336	0.46308	-0.47097
■ 龍泉洞ドラゴンブルー	-0.77353	-0.39723	0.417534	0.817164
■ 久慈アンバーイエロー	-0.13463	0.075628	-0.9075	-1.00736
■ 南部紫	-0.65543	0.508517	-0.62829	0.154625

4 今後の具体的な展開

本協働研究において、学生参加による地域色の意識調査および分析を行った。また、イベントでの聞き取りアンケートや、市、企業へのヒアリング、意見交換を実施した。選定された地域色は住民参加による幅広い世代により決定されたものではあるが、若い世代(学生)にどのようなイメージを及ぼすか、宮古市との協働研究の第一段階としてアンケート調査を実施することで可視化することができた。「浄土ヶ浜エターナルグリーン」を含めた地域色5色についてのみの調査ではあるが、それぞれ印象が大きく異なり、どのような因子が色の印象に影響を及ぼすかを数値化することができた。今後はこれらのアンケート結果を参考にしつつ、学生参加による市との連携研究を進めていきたい。今年度は、このアンケート調査以外にも連携研究の一環として研究の内容にも記載している新遊覧船就航式と併せて開催された宮古市のイベント「しおかぜフェスタ」での浄土ヶ浜エターナルグリーンの認知度調査や、市内企業へのヒアリングなども行っていることから、これらのまとめも進めて行く。

5 その他(参考文献・謝辞等)

【参考文献】

岩手日報：景勝発信この色で(2021年12月1日)。  
株式会社日本カラーデザイン研究所, <http://www.ncd-ri.co.jp/>, (2022年10月30日最終閲覧)

【謝辞】

本研究を進めるにあたり、多大なるご協力を頂きました一般社団法人日本地域色協会代表理事竹村育貴氏、理事杉立修氏に感謝申し上げます。